

保護者の皆さまへ

寝屋川支援校長室だより

令和3年11月30日 No.12

大阪府立寝屋川支援学校

校長 福井 浩平

准校長 阪本 友輝

まもなく12月となり本格的な冬の到来を感じます。子どもたちも寒さからか体調を崩しやすくなっているようにも思います。現在、新型コロナウイルス感染症は落ち着いておりますが、第6波がくるといったことも言われています。また、先日出席した研究会で「ウイルス干渉」という言葉を聞きました。「あるウイルスが流行すると他のウイルスが流行しないというもの」とのことです。昨年度は新型コロナが流行していたので、インフルエンザの罹患をほとんど聞きませんでした。しかし、「新型コロナウイルスが落ち着いている今は、インフルエンザウイルスに十分な注意が必要」との話がありました。

感染状況が落ちついてはおりますが、手洗い・マスクの着用・3密を避ける・換気・消毒・静かに飲食等、改めて気を引き締めながらも、落ち着いている今だからこそできる教育活動を進めて参ります。

●休日参観について

11月13日(土)14日(日)の休日参観につきまして、ご来校いただきありがとうございました。

ご来校いただいた保護者の皆様には人数制限等もありご不便をおかけしました。

昨年度は残念ながら実施できませんでしたが、今年度は児童生徒の学校での様子を見ていただくことができ、大変うれしく思います。子どもたちも、自分たちが頑張っている様子を見てもらえて喜んでいただいていたのではないかと思います。

今後も児童生徒がそれぞれに光る姿を感じていただけるよう、情報発信に努めて参ります。

●校長・准校長のバスへの乗車について

「10月27日付校長室だよりNo11」でお伝えしておりました私たちのバスへの乗車につきまして、当初の予定より長くなってしまいましたが、先週、すべての通学バスへの乗車が完了いたしました。

私たちが乗車すると、いつもと少し違う雰囲気はあったようですが、新型コロナ禍の中、マスクを着用して会話を控えめに頑張る姿といった子どもたちの様子、どんな道を走っているのか・どのような所にバス停を設定しているのか、運転手さん・添乗員さんの丁寧な接し方や和やかな子どもたちとの関わり等を知ることができました。担任の先生方にも様子を伝えておりますので、少しでも日々の教育活動に役立たせていければと考えます。

保護者の皆様にご挨拶できなかったバス停もあったかと思いますが、日々の送迎につきまして感謝申し上げます。今後ともよろしく願いいたします。

●ICT活用について

11月25日(木)に「第2回学校運営協議会」を実施しました。ICT活用・キャリア教育・進路指導等の本校の取組みについて説明し、協議会委員の皆様より様々なご意見をいただきました。詳細につきましては、後日「議事録」としてホームページに掲載させていただきます。

本校は昨年度の休校期間に先生方が「子どもたちのため」との思いから、多数の動画を作成・配信するといった先進的な取り組みを行いました。今年度もご希望するご家庭にリアルタイム配信の学習保障やミーティングソフトの活用による懇談等を進めております。

校内におきましても、国のGIGAスクール構想に基づいた1人1台端末の配備がまもなく完了します。児童生徒の発達段階・成長に合わせた活用を進め、日々の教育活動へとつなげて参ります。

●朝の挨拶運動について

一昨年度までは、中学部・高等部の生徒会の生徒や自主通学の生徒により、ドリームロードで「おはようございます」とみんなに声をかけ、また小学部のみんなにハイタッチするなどして、1日の始まりを共有していました。

昨年度から「大声を出さない」「接触を控える」といったことから、「お・は・よ・う・ご・ざ・い・ま・す」との挨拶プレートやポスターを持ち、一日の始まりを伝えています。また、今年度からは小学部の児童会会長・副会長も挨拶運動に加わり、とても温かな一日の始まりの光景となっています。

